

仙台スタジアムサウンディング実施結果

仙台市では、スポーツ振興を通じた地域の賑わい創出に向けて、市有施設の利活用可能性を検証する趣旨から、地域に根差した複数のプロスポーツチームのホームである仙台スタジアムの利活用について関係者に対しサウンディング調査を実施し、その結果を以下の通り取りまとめました。

1. 実施経緯

内容	日程
サウンディング実施の公表	令和6年1月26日（金曜日）
サウンディング申込受付期間	令和6年1月26日（金曜日）から1月31日（水曜日）
サウンディングの実施	令和6年2月中下旬

2. 参加事業者 ※グループで参加した場合でも参加企業ごとに数えている。

内容	参加事業者数
現地見学	6事業者
サウンディング	13事業者

3. 主な意見・要望

(1) 現状のスタジアムの利活用案

- ・ 公式戦開催日以外の日のスタジアムやピッチを活用したイベントの開催
- ・ 芝生管理の工夫によるコンサートなどの大型イベントの開催
- ・ ウォーミングアップ場や諸室を体験型教室などに貸出すこと
- ・ 諸室の貸出予約や利用状況などの情報発信・広報の強化
- ・ 諸室やスタジアム観客席を高付加価値化し販売すること
- ・ 公式戦開催日は選手が利用し、それ以外の日は住民が利用可能な医務室等の設置

(2) 事業実現に向けた課題や留意点

- ・ 指定管理者制度における利用料金制の導入。民間事業者が収益事業を行うメリットを見出し易い。
- ・ 現行の指定管理料ではコストを抑えた施設運営・管理を指向するが、スタジアム利活用を目的とした指定管理料を上乗せすることで事業展開の可能性が広がる。
- ・ 仙台スタジアムは球技専用施設であり、また、スタジアム周囲のイベント利用可能なスペースが少ないため、収益事業の展開が難しい。

(3) 七北田公園とスタジアムの一体的利活用について

- ・ スタジアムに隣接した大規模な公園は利活用のポテンシャルが高い。スタジアム周辺の大規模な再整備を前提としなくても、七北田公園とスタジアムとの一体的な指定管理制度の導入や P-PFI 事業等の官民連携事業を導入することで、公式戦開催日やそれ以外の日において公園利用者や市民を巻き込んだ多様なイベントの開催、管理費の効率化が期待できる。
- ・ 七北田公園とスタジアムとの一体利用の例としては、公式戦開催と併せた各種イベントの開催、日常的には子育て層やシニア層に向けた健康・スポーツ関連イベントの開催等が考えられる。
- ・ 公園への施設整備の例としては、ランニング・ジョギング、アーバンスポーツ、キャンプ・グランピングを対象としたものが考えられる。
- ・ 公園及びスタジアムで利用可能な駐車場の拡充が望ましい。

(4) その他

- ・ SDGs に寄与する取組を評価されることが望ましい。
- ・ 防災機能強化に資する取組を評価されることが望ましい。

4. 今後の予定

サウンディングでいただいたご提案、ご意見を、仙台スタジアムの指定管理者の選定や今後の管理運営手法等の検討において、参考にいたします。